

各 位

会 社 名 株式会社プロトコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 神谷 健司
 (東証 J A S D A Q ・ コード 4298)
 問合せ先
 役職・氏名 取締役 清水 茂代司
 電話 052-934-2000

平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 5 月 12 日に公表した平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期 第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)
 (単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	26,821	2,450	2,485	1,445	円 銭 70.68
今回修正予想 (B)	24,037	2,450	2,541	1,656	81.00
増減額 (B-A)	△2,783	0	56	211	—
増減率 (%)	△10.4	0.0	2.3	14.6	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	27,724	2,456	2,612	1,312	64.09

2. 修正理由

当第 2 四半期累計期間の連結業績予想につきましては、主に自動車関連情報において、消費税増税の反動減の影響により、輸入タイヤ販売を手掛ける株式会社オートウェイにおいて、タイヤ販売数量が当初計画を下回ったことに加え、株式会社キングスオートの中古車輸出事業において、主要な仕向国である香港において高額車両の輸出台数が減少したことなどから、売上高および売上総利益が期初の予想を下回る見込みであります。しかしながら、Goo シリーズが堅調に推移していることに加え、人件費および広告宣伝費等の販売管理費の見直しを図ることにより、営業利益、経常利益については、当初の計画を達成できる見込みであります。

また、上記要因に加え、四半期純利益につきましては、期初の段階で清算終了日が確定していなかった PROTO SINGAPORE Pte. Ltd. の清算が当第 2 四半期累計期間に確定し、子会社清算益が発生したことから、前回公表数値を上回る見込みであります。

なお、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、修正が必要と判断した場合には速やかに公表する予定であります。

(注) 本資料に記載されている業績等の予想数値につきましては、本資料の発表日現在において得られた入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上